

これまでの取組経緯と第２回検討市民委員会の意見

- １　これまでの取組経緯等・・・・・・・・・・・・・・ １
- ２　第２回検討市民委員会の主な意見と対応方針・ ３

1 これまでの取組経緯等

6/28

第1回検討委員会：改定の視点、アンケート速報、都市の課題

【テーマ】

- 委員会の趣旨と目的
- 都市計画MP見直しについて
- 社会情勢・地域概況
- 課題の整理
- アンケート調査の報告①

>>社会情勢・地域概況

- ・人口、産業、土地利用 など

>>事業評価

>>都市課題の整理

- ・上位計画、アンケート、事業評価

>>アンケート調査実施報告

- ・調査概要
- ・回収率
- ・速報

8/8

第2回検討委員会：アンケート結果、都市の課題と将来像、全体構想

【テーマ】

- 前回のおさらい
- アンケート調査結果の報告②
- 課題の整理等
- 見直し案の確認(1)都市の将来像
- 見直し案の確認(2)全体構想

>>前回のおさらい

>>アンケート調査結果

- ・単純集計、クロス集計 など

>>都市課題の整理等

>>和光市の将来像

- ・将来像、人口フレーム など

>>全体構想

- ・土地利用の方針
- ・道路・交通等都市施設
- ・緑のまちづくり（緑地・公園）
- ・景観、環境、防災・防犯 など

本日

第3回検討委員会：地区別構想、（全体構想）

【テーマ】

- 前回のおさらい
- 見直し案の確認(3)地区別構想

>>前回のおさらい

>>地区別構想

- ・地区別の整備課題
- ・地区別まちづくりの方針

11月末

第4回検討委員会：実現化方策

【テーマ】

- 前回のおさらい
- 実現化方策
- 素案の確認

>>前回のおさらい

>>実現化方策

- ・進行管理手法
- ・住民参加手法 など

2月末

第5回検討委員会：結果報告

【テーマ】

- 前回のおさらい
- パブリックコメントの結果報告
- 今後のスケジュール

>>前回のおさらい

>>パブリックコメントの結果報告

>>策定スケジュール など

■ 都市計画マスタープラン（平成13年12月）の目次

1	都市計画マスタープランの目的と位置づけ	1
1-1	都市計画マスタープラン策定の目的	1
1-2	都市計画マスタープランの位置づけ	2
1-3	都市計画マスタープランの計画期間	2
1-4	都市計画マスタープラン策定の流れ	2
2	和光市の現況と課題	4
2-1	和光市の概況	4
2-2	上位計画の概要	10
2-3	住民意向調査	12
2-4	和光市の現況のまとめ	17
2-5	都市の問題・課題	18
3	都市像の確立	19
3-1	基本理念	19
3-2	将来都市像	20
3-3	都市の基本構造	22
3-4	都市フレームの設定	24
4	将来の全体都市構想	25
4-1	全体都市構成	25
4-2	土地利用方針	28
4-3	都市施設整備方針	31
4-4	都市環境形成方針	35
4-5	都市景観形成方針	37
4-6	都市防災化方針	40
5	地区別構想	43
5-1	A地区	44
5-2	B地区	51
5-3	C地区	58
5-4	D地区	65
5-5	E地区	72
6	まちづくりの実現に向けて	79
6-1	総合的なまちづくり施策の展開	79
6-2	市民・行政のパートナーシップによるまちづくりの推進	80
6-3	先駆的な事業の展開	81

第1回

第2回

参考資料

第3回（今回）

資料-2、3

第4回（次回）

2 第2回検討市民委員会の主な意見と対応方針			対応方針
将来都市像（ホーム タウン 和光）	■緑豊かなまち （緑の確保、農地の保全）	○緑豊かなまちとは、「減っていく農地」と「自然環境の保全や公園などの緑を増やすこと」のバランスをとっていくことではないか。 ○農業だけで生計をたてることは難しいが、 <u>農業を続けることで農地を減らさない・緑を維持することが重要。</u>	⇒意見の主旨は既に記載されているため文章の変更はない （P2:3-3 都市の基本構造、P3:4-1 全体都市構成、P6:4-2 土地利用方針、P8:4-3 都市施設整備方針、P11:都市環境形成方針）
	■より安心、より快適なまち （子どもの通学時の安全確保、 買い物の魅力向上）	○子どもの安全確保のため、新倉小学校の通学時間帯に交通を規制してはどうか。 ○若年層は買い物の不便さを感じており、高年層でも気の利いた店がないように感じている。まちのステータスになるような商業施設を考えていくことが重要。 （市）・都市マスにおいては、 <u>商業施設を呼び込むための基盤整備等の考え方を検討。</u> （産業振興計画では大規模商業施設導入は考えておらず、既存店舗を活かす方向）	⇒生活軸において、以下を追加 ・P4:「特に、 <u>子どもの通学時の安全の確保</u> 」 ・P8:「特に <u>子どもの通学時の安全確保</u> できるよう、 <u>歩道の確保や歩車道区分を明確化</u> 」 ⇒P6:「 <u>公共空間を活用したにぎわい創出</u> 」により魅力的な商業環境の形成に寄与することを記載
	■地区別の特性	○住んでいる場所によって問題点が異なるのではないか。 （市）・次回、地区別のアンケート結果を提示。	⇒「資料2 地区別の特性・施策の実施状況」にて提示
都市計画マスター プラン見直し	■都市マスの役割	○新倉の市街化調整区域で農地を残すとあるが残っておらず、雑種地や資材置き場になっている。現実を踏まえ、将来の夢に向けた対応や規制につながる都市マスにすべき。 （市）・都市マスは基本的な方向性を示すもの。プランを実現するために、土地所有の問題や法令・条例など、複合的な対応が必要。現行都市マス等の課題を明らかにすることも今回の見直しの目的。 ○都市マスを実現するためには、 <u>まちづくり条例等の実行計画との関係を強化し、守らせる必要があるのではないか。</u> 実際 100㎡以下の宅地がある。 （市）・議論を重ねてできたまちづくり条例であるが、上位の法より大幅に厳しくすることは難しい。また、まちづくり条例は 500㎡より小規模の開発には適用されないため 100㎡以下の宅地があるのも事実。現状と課題を踏まえ、実効性のある都市マスの検討を進めたい。	⇒都市マスにおける実効性の確保に向けて、『地区計画』等の導入に向けて検討することを「資料3 地区別構想」で提示
	■メリハリある土地利用	○環境を守るため、人口は増えない方が良いのではないか。 （市）・多くの都市が人口減少の中、和光市は人口増加傾向。 <u>限られた土地で自然と都市の調和を図り、居住空間を確保するためには、高層・低層などメリハリをつけ、住み続けられるまちにしていきたいことが重要。</u> 住民の意見を聞き地区計画を定めるなど、都市の質を向上させることが必要。	⇒意見に対する市の回答（人口増に対して土地利用のメリハリによる都市の質の向上）を理解頂いた。市の主旨は既に記載されているため文章の変更はない。 （P2:3-3 都市の基本構造、P4:4-1 全体都市構成、P6:4-2 土地利用方針）
	■小中学校の配置・規模の適性化	○駅北側は第1種中高層住居専用地域（用途地域）が指定されており、マンションが立地し、人口が増え続けている。数年後に大和中学校は千人規模になると聞いている。	⇒メリハリある土地利用に向けて、『地区計画』等の導入に向けて検討することを「資料3 地区別構想」で提示
その他	■緑の質の向上と維持管理 市民協働	○農地保全が難しい中、緑の量を確保するために各住宅で敷地内緑化を行うことが重要ではないか。 ○高木は年1回手入れをしているが、低木や駅前のプランターは暑さで枯れている。雑草も多い。周辺施設や地域を活用して、市民協働で緑を維持していくことができるのではないか。 （市）・市の財政を踏まえ、主要道路の高木は年1回剪定。雑草は適宜対応。NPO団体や公共施設美化サポーターによる市民協働を進めている。きめ細やかな管理は行政では難しく、地域の方からの協力が不可欠と考えている。 ・管理場所と対応する人を決めれば活動が着実になり、緑の質も向上するだろう。市民への周知や教育という視点を都市マスに盛り込み、緑や自然環境が重要と考える市民を増やしたい。	⇒意見の主旨は既に記載されているため文章の変更はない （P6:4-2 土地利用方針、P8:4-3 都市施設整備方針、P11:4-4 都市環境形成方針、 <u>6 まちづくりの実現に向けて（第4回委員会にて提示）</u> ）
	■用語の使い方	○「障害者」は、「障がい者」にしてほしい。広報でも統一されていないようだ。 （市）・確認して、表記する。	⇒「障がい者」に統一。 例）P8 交通施設「高齢者や障がい者にもやさしい十分な歩道幅員の確保」と変更